

地 学 基 礎	単位数	2 単位	実施予定授業数	70 時間
---------	-----	------	---------	-------

1. 学習の到達目標

学習の 到達目標	<p>地学現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地学現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目標とする。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地学現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>(3) 地学現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>あわせて2年次においては、生徒の進路選択に資する興味関心の喚起を目指す。</p>
使用教科書 ・副教材 等	<p>教科書「高等学校 地学基礎」啓林館</p> <p>図 表「ニューステージ 新地学図表」浜島書店</p> <p>問題集「ベストフィット」実教出版、</p> <p>「サンダイヤルNavi&トレーニング新訂版地学基礎」啓林館</p>

2. 学習計画および評価方法

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲	時 数
第 1 学 期	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球	4	<ul style="list-style-type: none"> 地球の概観について学ぶ。さらに、地球の詳しい形やその内部構造を学ぶ。 地震や火山のような、活動する地球の特徴を理解し、地球上に分布するプレートと関連付けて学習する。 	各 考 査 間 の 学 習 範 囲 を 指 示 する。	2 5
	第2章 活動する地球				
	第2部 大気・海洋 第1章 大気の構造	5 6	<ul style="list-style-type: none"> 地球の表層をつくる岩石について、火成岩を中心に標本を用いながら、成因や構成する鉱物の特徴などを学習する。 		
		7	<ul style="list-style-type: none"> 大気圏について理解し、水と気象の関係を学ぶ。 		
			<p>上記の基本的知識を身に付けている</p> <p>【知識・技能】</p> <p>上記の観察・実習を行い科学的に施行し、その過程を表現できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>上記の地学に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養おうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>		
	【知識・技能】 ○定期テスト (90%) ○課題・授業プリント (10%)				
	【思考・判断・表現】 ○定期テスト (80%) ○実習・観察レポート (20%)				
	【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業態度 (40%) ○実習・観察レポート (60%)				
	【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。				

第 2 学 期	第2部 大気・海洋 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 第3章 日本の天気	8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・地球全体のエネルギー収支について理解し、大気の大循環や海水の循環について学ぶ。 ・日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について学ぶ。 	各 考 査 問 の 学 習 範 囲 を 指 示 す る。	3 0
	第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生 第2章 地球と生命の進化	11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の誕生、太陽系の誕生について学び、天体の運動や惑星の特徴について、写真やビデオ等を通して学習する。 ・生物の変遷と地球環境の変化について理解し、先カンブリア時代や顕生代について学ぶ。 		
	上記の基本的知識を身に付けている				
	【知識・技能】 上記の観察・実習を行い科学的に施行し、その過程を表現できる。				
	【思考力・判断力・表現力】 上記の地学に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養おうとしている。				
【主体的に学習に取り組む態度】					
【知識・技能】 ○定期テスト (90%) ○課題・授業プリント (10%)					
【思考・判断・表現】 ○定期テスト (80%) ○実習・観察レポート (20%)					
【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業態度 (40%) ○実習・観察レポート (60%)					
【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。					

第 3 学 期	第3部 第3章 地球史の読み方	1	・堆積岩とその形成や地層と地質構造について学び、地球の歴史の組み立てについて理解する。	各 考 査 間 の 学 習 範 囲 を 指 示 す る。	1 5
	第6部 自然との共生	2			
	まとめ	3	・地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災について学ぶ。 ・履修範囲の復習を行う。		
			上記の基本的知識を身に付けている 【知識・技能】 上記の観察・実習を行い科学的に施行し、その過程を表現できる。 【思考力・判断力・表現力】 上記の地学に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】		
			【知識・技能】 ○定期テスト (90%) ○課題・授業プリント (10%)		
			【思考・判断・表現】 ○定期テスト (80%) ○実習・観察レポート (20%)		
		【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業態度 (40%) ○実習・観察レポート (60%)			
		【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。			
		【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ総括し、年間の5段階評定とする。			